

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは別館		
○保護者評価実施期間	令和8年2月6日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数) 59
○従業者評価実施期間	令和8年2月6日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、保育士が常勤しており専門的な視点を生かした療育を行っています。また子ども一人ひとりの発達段階を評価しながら適切な支援に繋がっています。	各専門職は連携しながら子ども一人ひとりの発達段階や特性を踏まえた支援を行うことを意識しています。専門的な視点から子どもの様子を共有し合いより適切な療育に繋がるよう取り組んでいます。	今後も専門職が連携しながら子供の発達段階を丁寧に評価し専門的な視点を生かした支援の充実を図っています。また職員間で情報共有を行いながらより質の高い療育の提供に努めていきます。
2	利用後には保護者の方との申し送りの時間を設け、園での様子やご家庭での困りごとについて早い段階で相談できる体制を整えています。また就労等の都合により直接お話しすることが難しい場面でも写真を交えながら公式LINEを活用しその日の様子をわかりやすくお伝えしています。	保護者の方への報告が一方的にならないよう話しやすい雰囲気づくりや職員の声かけについて管理者と共有しながら対応しています。またお迎え時のコミュニケーションや公式LINEでのやり取りについても丁寧な対応を心掛け保護者の方と継続的に情報共有できるよう取り組んでいます。	今後も保護者の方が相談しやすい雰囲気づくりを大切に職員間で対応の仕方を共有しながら丁寧なコミュニケーションを継続していきますまた公式LINE等も活用し保護者の方と継続的に情報共有ができるよう取り組んでいきます。
3	今年度よりInstagramやブログ等の更新頻度を高め活動の様子やお知らせを定期的に発信する取り組みを行っています。	ご利用されている保護者の方や、これから事業所を探している方々情報へを発信することで事業所の様子がわかりやすくなることや、療育の専門的な視点が伝わるよう工夫しています。	今後もInstagramやブログ等の更新を継続し活動の様子やお知らせをわかりやすく発信することで情報発信のさらなる充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の情報共有のタイミングや方法にばらつきがあること。	利用児童の状況や支援の内容については共有を行っているが忙しい時間帯等では不十分に伝達できない場合もあり、より確実に共有できる仕組みづくりが必要である。	職員間の情報共有や共通理解を深め保護者へ統一したご説明ができるよう体制を整えていき、事業所の取り組みへの理解を深めてもらえるよう努めていく。
2	保護者の皆様より「わからない」「どちらともいえない」の回答が多くみられたため保護者の皆様への周知が十分ではなかった可能性があると考えられる。	日々の支援や活動内容の報告はしっかり行っているが、事業所としての取り組みやご説明が不十分であったことが原因と考えられる。	保護者の皆様へのお知らせに対する内容は目的をもって行っけていき、支援の内容をより分かりやすくお伝えしていく。
3	ご家族での送迎を協力して頂いている。	担当した職員が面談にてきちんと保護者と共有を行う為に保護者へ送迎の協力を依頼している。	保護者の就労により時間に間に合わないとの相談があり、職員の出勤を調整して早めに受け入れを行う様にしている。